

この11月上旬に、沖縄で開催された2つの学会に参加した。第59回日本脊髄障害医学会と第100回西日本脊椎研究会である。両学会ともに同じ万国津梁館で行われたので、そこに2週続けて出かけることになった。万国津梁館は2000年に開催された沖縄サミットの会場として建設された施設で、東シナ海に突き出た小さな半島の先端に位置しており、美しい海を一望することができる。2つの学会ともにすばらしいプログラムが企画されていて大いに楽しませてもらったが、同じ敷地内にあるザ・ブセナテラスというリゾートホテルにも2週連続して宿泊したので、交通費も含めてかなり散財したことにはなった。

ところで、この2学会の会期中は、第1週は台風の影響を受け、第2週ではなんと4つの台風が同時に発生していて、天候には残念ながら恵まれなかった。ただ、リゾート地での開催にもかかわらず、多くの参加者が抜けることもできず学会場で缶詰状態に陥っていたので、考えようによっては絶好の学会日和であったといえよう。2017年に他学会が沖縄で開催されたときには、10月最終週以降に台風の影響を受けたことはないと言っていた。しかし、その最終週に開催された学会の翌日に台風が直撃することになって、それ以降沖縄ではこの時期の台風は珍しくもなくなったようである。これも地球温暖化の影響なのだろう。

さて、本号の特集は「脊髄動静脈奇形の診断と治療」である。血管内手術や術中ICGによるシャントの同定、定位放射線療法などが導入されたことで、脊髄動静脈奇形の診断や治療が洗練されてきた。一方で、執筆者の高見俊宏教授が述べているように、異常血管と脊髄との解剖学的比率から手術難易度は脳AVMよりも遙かに高く、微細血管の扱いにも慣れておく必要があり、血管内治療にしても屈曲蛇行した細動脈にマイクロカテーテルを最適な位置まで進めるといったきわめて難易度が高い技術が求められている現実には変わりはない。飛驒一利編集委員が企画したまさにタイムリーな特集をぜひ楽しんでいただきたい。

11月に米国大統領選でトランプが勝利した。ロシアによるウクライナ侵略をディールで解決してみせると意気込んでいるそうである。万国津梁館には沖縄サミットに参加した首脳のサイン入り写真が展示されていて、プーチン大統領のものもあった。2000年当時はまだG8だったのでロシアも参加していて、当時のメンバーのうち今でも首脳を務めているのは彼だけである。老獪なプーチン大統領とディールを好むトランプ新大統領がどのようにウクライナ侵略を収めるのか、ここでも難易度の高い交渉技術が求められよう。どこかでまた同じようなことが起きないように、侵略者の勝ち逃げを許さないような策を入れてもらいたいものだ。これもリスク・マネジメントである。

(永島英樹)

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

萬年 徹 金田清志 小柳知彦
田代邦雄 国分正一 服部孝道

編集委員

松山幸弘 (編集委員長)
亀山 隆 黒川勝己 高橋敏行
高見俊宏 筑田博隆 永島英樹
中西一義 中村雅也 西田康太郎
原 政人 飛驒一利 堀 正明
安原隆雄

Vol. 37 No. 8
(2024年12月25日発行)

毎月1回25日発行

1部定価 (本体2,500円+税)

(配送料別)

年きめ予約購読料 33,300円+税

送料弊社負担

発行/株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷6-17-9

本郷綱ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

(担当: 西本・山岸)

印刷所/三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所/

(株)文栄社

TEL 03-3814-8541

(株)ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2024,
Printed in Japan

JCOPY (出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。